

# 授業科目 健康障害看護学概論

【担当教員名】 手島 美子		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	○	
【概要・一般目標：G10】 成人期にある人の健康障害の特徴を理解する。健康（地域）～健康障害（入院）～健康・障害（地域）の各サイクルに適した看護を考える。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 成人期にある人の健康障害の特徴を理解できる。 2. 成人期にある人の健康障害のサイクル（健康－健康障害－健康又は慢性）に適した看護を考えることができる。 3. 成人看護に必要な理論を理解する。 4. 病気と患者行動の理解ができる。 5. 成人期の健康障害における診断の知識を理解し看護を考えることができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス			1	講義、担当：手島 美子
2	成人期の健康障害の特徴を身体的・精神的・社会的側面から理解できる			2	講義、担当：手島 美子
3	成人期の健康障害看護に有用な理論（自己効力・ヘルスプロモーション・危機理論）を学習する			3	講義、担当：手島 美子
4	成人期の健康障害の情報その1（身体の診察・全身）			4	講義、担当：手島 美子
5	成人期の健康障害の情報その2（呼吸器系・循環器系の疾患）			3	講義、担当：手島 美子
6	成人期の健康障害の情報その3（消化器系・神経系の疾患）			4	講義、担当：手島 美子
7	まとめ			5	講義、担当：手島 美子
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		成人看護学概論 第2版	大西 和子 他	ヌーベル	2010・2,200円＋税
その他の資料		病気と患者の行動	Ruthwu、岡堂哲雄 監訳 他	医歯薬出版	1998
【評価方法】 定期試験 100%			【履修上の留意点】 授業でできることは限られているので主体的に学習することを望みます		